

## 2020年度 早稲田大学教員免許更新講習 シラバス

講習名	【8057】ヨーロッパ近現代史（教科書を資料として考える）		
担当講師	小森 宏美（教育・総合科学学術院教授）		
講習方式	対面講習からオンライン講習に変更します。		
オンライン講習受講にあたっての留意事項	Zoomによるオンライン講習を行います。 PC・タブレットPC（マイク・WEBカメラ内蔵または外付けカメラ・マイク） オンライン講習が受講可能な通信環境・受講に集中できる環境が必要です。		
教科	中学校社会、高等学校地理歴史		
主な受講対象	中学校、高等学校、中等教育学校 社会科、地理歴史科教諭		
開講日	2020年8月5日	講習時間	9:30 - 17:10
認定試験日	2020年8月5日	試験方法	筆記試験
認定試験の際の持込可否	全て持込可。		

講習の概要	ドイツやフランスをはじめとするヨーロッパ各国の歴史教科書を実際に使いながら、いくつかのテーマを選んで自ら学び、その特徴や問題点などを検討する。日本語訳のない東欧諸国などの教科書についても、講師が要約して解説を行う。とりわけ、冷戦終焉後、歴史記述に大きな変化があったこれらの国については、当該社会や国際関係と連関も含めて検討を行う。		
講習計画（時間割）	<p><u>1時限:9:30-10:50 (80分)</u> : ドイツ、フランス、イタリア、ロシアなどの歴史教科書の日本語訳を用いて、各国教科書の特徴について検討する。 (10分休憩)</p> <p><u>2時限:11:00-12:20 (80分)</u> : 日本の世界史教科書で「歴史的事実」として記述されている歴史事象をめぐるヨーロッパでの近年の議論を、近現代史を中心に、各国教科書を使用しながら紹介する。 (60分休憩)</p> <p><u>3時限:13:20-14:40 (80分)</u> : 前半50分は、受講者各自で各国教科書の記述を検討する。後半30分で気づきの点について議論を行う。 (10分休憩)</p> <p><u>4時限:14:50-16:00 (70分)</u> : ロシア・東欧の事例を中心に、「記憶の政治 / 抗争」などと呼ばれる状況を紹介し、小説や映画、ドラマ、博物館などいわゆるパブリック・ヒストリーに関連する分野に影響を及ぼしていることを検討する。 (20分休憩)</p> <p>認定試験:16:20-17:10 (50分)</p>		
教科書（受講生の方に購入、持参いただくもの）	書名	出版社	価格
参考文献	書名	出版社	価格
	リン・ハント(長谷川貴彦訳)『なぜ歴史を学ぶのか』	岩波書店	1600円 + 税
その他			

講師から受講者へのメッセージ	参加型の授業にしていきたいと考えております。講義も行いますが、授業の中で議論を通じての発見があることを期待しています。
----------------	---

